日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

# 裾野麗峰山の会（sine１９９４）

第２２期・５巻　２０１６年11月号　ＮＯ．１８７

仲間と仲間を結ぶ機関誌

# れいほう

Susono Reihou Alpine Club

NO.１７０７　秋山合宿

１０月２２日・両神山

もくじ

表紙
山々のブログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2p
経過報告　全国連盟・県連盟・東部ブロック会議・・・・・・・・・・・3p
会山行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4p
個人山行報告
今後の予定
その他・四方山話
今月のベスト・ショット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15p

「山々のブログ」　Ｎｏ．１６３

後藤隆徳

# 山岳遭難者

過日、無風快晴の会津磐梯山に上った。この山は二回目。最初は山の会で北面の川上温泉から上った。その時も初秋だったが、旧火口下の「白玉の木の実」が凄かった記憶がある。

磐梯山は、１８１６ｍと意外と高い山。好天ならハイキング気分で上れる。従って、そんな時、「俄か登山者・思い付き登山者」が増え要注意となる。

超満員の頂上を避け、弘法清水小屋前で昼食にした。この小屋はトイレがない。トイレは全て「携帯トイレ」で各自降ろす。「携帯トイレ」は３００－。なかなかイイと思った。ただ、途中で男性が野尿では、いただけない。この辺の塩梅が難しい。

下山は旧火口コースを下る。櫛ヶ峰の荒々しい山肌が迫力満点。ここは上るより、下って、この絶景を楽しむのが正解のようだ。

火口跡を下り切り、休憩していると、下で誰かが大声を出して上って来る。「？？？！！！」だった。上って来たのは山形の方だった。遭難者がいてヘリを呼びたいが、位置が分からない。ＧＰＳを持っていますかだった。

ＧＰＳは、先月号で知らせた通りなので、位置を割り出し教えてやった。遭難者は６０代の広島の方で故郷は福島という。昨日、９時頃、裏磐梯スキー場から上ったが、道を間違い頂上は１４時頃。火口コースに下ったが、途中で日没になり歩行不能になった。

そのうち見事な月が出たのでお月見をしたり（？！）この辺りを彷徨し、崖から落ちたりしたという。食事は、昨日の夕・今日の朝・昼を食べていないという。食べ物を上げたが喉を通らない。水をやっと飲める状態だった。その時、１４：３０。

何とかユックリなら歩けるので、スキー場に下るが、遭難者のペースでは日没になる。結局、ヘリを呼ぶことにした。１１９ですぐ手配された。なかなか手際良かった。私達の昨年冬の甲斐駒のゴタゴタがウソの様だった。

ヘリは福島空港を１４：５０発。ここに１５：１０頃到着という。程なくヘリが飛来。ＧＰＳで位置を知らせた割には、場所特定に手間が掛かった。

やがてピックアップされ機内に消えた。後で会津若松の病院に収容したと消防が話していた。

彼はもう一晩山で過ごしたら、恐らく一命はなかっただろう。彼一人の為に多くの方が奔走し、迷惑を掛けた。

退院したら、警察でみっちり絞られる。ただ、彼が今回の顛末の責任をどの程度認識しているかは不明。

この時期、この様なハイカー（徘徊―？）が多いのは困ったものです。

## １．第５回・東部ブロック会議報告

2016．09.26　　沼津・ちょ蔵　19:00～

出席者

伊豆ＨＣ：河合（○）三島労山：山口（×）裾野ﾚｲﾎｰ：小松（○）・後藤（○）植松（○）
駿東山の会：近森（×）さぎり山の会：斉藤（○）山楽歩：加藤（○）

計　６　名

議　題

**イ、５０周年　記念誌の状況は？**

各ブロック長に原稿チエックして貰うため発送済。全体的これで問題がなければ、２８日（水）印刷所に持ち込む。ゲラは１０月中旬ころか。

**ロ、５０周年レセプション　１１/２７（日）**

準備・受け付けは清水テルサ、９：００集合。（８：３０入館ＯＫ）
＊準備は、各ブロックから２～３名選出。１．斎藤（あさぎり）２．小松（レイホー）
＊受け付けは、各ブロックから２名選出。１．加藤（山楽歩）２．山口（三島）
＊記念山行、１００座を振り返り
　後藤（レイホー）に依頼
＊会場展示物
　伊豆ハイク・河合に一任。

**ハ、２０１７県連交流ハイク　２０１７/1/１５（日）**

＊蒲原・大平山が候補。
＊地図・コースなど、後藤氏（レイホー）に依頼。１０/３０（日）理事会に間に合わせる。

**ニ・その他**

次回開催予定　１２月１９日（日）　場所：ちょっ蔵　　ＰＭ７：００～

## ２．１０月度例会報告

**１０月２日（日）生協会議室１０：３０～１２：００**
出席者＝後藤・ＭＴ・ＡＭ・ＯＨ・ＫＫ・ＫＳ＝６名
欠席連絡＝ＨＫ・ＭＭ・ＨＡ・ＩＴ・ＫＭ

・経過報告
・東部ブロック会議など
・会山行報告　　天城連峰・青スズ台＝５名
　　石割山＝雨中止（リベンジする）
・今後の予定　**１１度例会は、１１月１３日（日）生協会議室１０：３０～１２：００**
**注意＝第二日曜日です！！！**

**会山行報告**

山行番　　ＮＯ．１７０７Ａ　　文・小島　写真・後藤
日　時　　２０１６．１０．２３（土）無風快晴
山　域　　両神山（１７２３ｍ）
コース　　下土狩５：００－上落合橋発８：２０－両神山１２：０２～３０－上落合橋１４：１６－こまどり荘１４：５５（宿泊）８４００円／一泊二日（朝夕二食）
標高差　　上り＝上落合橋１１４０～両神山１７２３ｍ
　　下り＝　　〃　　標高差＝５８３ｍ　累積標高差＝８７７ｍ
参加者　　後藤（L）、室伏、勝又、秋山、峰田、長谷、小島＝７名

# 山岳会の山行はけっこうキツイ

　秋合宿で奥秩父両神山へ山行。小生にとっては山岳会デビュー。
早朝長泉発、山中湖あたりから空が白み快晴の兆しを感じる。リーダーの運転で順調に距離を稼ぎ、河口湖、御坂峠、塩山、雁坂トンネル、大峰トンネル、奥秩父モミジ湖と進み、中津狭で一服。更に林道を走り、登山口の上落合橋に８：０２着。距離約１４０ｋｍを三時間で到着。初日は南天山の予定だったが、時間が有り両神山アタックに変更。登山口ではクルマが十台近く駐車しており駐車スペースが無かったが、すぐ先に一台分空いていた。登山口にはカウンターが設置され入山数をカウントしている。
　リーダーは三時間の運転も意に介さず８：２０にアタック開始（タフや）まずは八丁峠までの登り３００ｍ。木製の梯子を登り、大きくて水と緑に溢れ、時々紅葉の見事なＶ字谷を、十五分ほど歩くと、次はジグザグの登り道。林の中で清涼な登山道だがピッチが速い。付いて行くのがやっと（こりゃあ鍛えないとだめだ）峠までわずか４５分。数分の休憩後、アップダウンの稜線歩き。
　十分もしないうちに最初の鎖場。ヘルメットと革手で身構えて岩に取り付く。１０ｍほどの岩場を登り、小ピークを幾つも越える。直線なら５０ｍほどの距離だが、間には数十ｍの落差があり１０分以上掛かかる。気が滅入るが、ピークで山々を望むと、愛鷹山系より一枚上手のすっきりとした紅葉が疲れを癒してくれる。思わずカメラを取り出し数枚。
　岩場は十ヶ所以上あっただろうか。最初の内は鎖に頼らず、三点確保で岩をホールドして攀じるが、段々と疲労が溜まる。両手で岩の手掛かりを掴み、脚力で身体を持ち上げるが、どうしても腕が伸びて腕力を使えない。鎖を使えば腕の位置が上下自由なので腕力で攀じる事が出来る。鎖の有り難さを実感した。また岩登りのいいトレーニングとなった。
　岩は火成岩で、硬くしっかりとしている。木の根も頑丈で、充分に手掛かりとなり、不安は少ない。あとで調べると、この山系は石英や大理石が多く産出し、かつては金銀が産出する鉱山地帯だったそうで、平賀源内も訪れたよし。一時間ほどで西岳到着、さらに一時間で東岳。途中下山中の女性と遭遇し一緒に歩く。東岳でやっと一服。三時間近く歩いて休憩とは厳しい。以前プロの登山家から『山ではスピードイコール安全』と言われたことを思い出す。
　東岳からは明瞭に道が変わる。急峻な岩場は影を潜め、穏やかな稜線歩きとなった。三十分ほどで両神山到着。流石に休日の百名山で狭い山頂は人で溢れかえる。天気は快晴で風も

無く、適度な気温と日差しで爽快。３６０°のパノラマを満喫。何処を向いても山また山、木々の緑と黄、赤の木の葉、そして岩場の白、灰色と、目に優しい風景を堪能しながらむすびを頬張る。

上落合橋登山口

先行者

岩場が続く

帰路は来た道を戻ると思っていたが、廃道となった登山道で直接上落合橋に降れるとの事。分岐を見付けるのに多少手間取った。このルートは地形図とＧＰＳで見ると直接上落合橋に向って居り、有り難い下山ルートだ。往路は峻険な岩場だっただけに心底有り難い（このルートを見付けたリーダーに感謝）

下りは落ち葉に覆われ、疲れた足に優しい九十九折の坂道。木々が高くそびえ、下草もほとんどなく、日差しも遮られ、清々しい巨大な空間をのんびりと歩く。ときおりＧＰＳを見ると現在位置とゴールまでの道のりが明快で安堵する（これは優れモノだ）

途中悪場でリーダーがザイルを出す。Ｖ字の濡れた岩斜面のトラバースでスリップが怖い。この辺が山岳会の用意周到なところ。単独では少し辛い。登り三時間半の行程を、降りは一時間半。十五時前にこまどり荘到着。

奥秩父の山は雲取と甲武信しか知らなかった。これほど奥深くスケールが大きいとは。感動。こまどり荘では気持ちの良い風呂と、屈託の無い酒盛りを堪能（酔っぱらって失礼な言動、お許し下さい）

行蔵峠

Ａ嬢

両神山頂上

その他の記述（後藤）

１．朝、飛ばし過ぎてトイレが心配だったが、中津峡を遡った、中双里に立派なのがあった。早朝だったがオジサンが掃除をしてくれていた。聞けば、週４回実施とのこと。ご苦労様です。ただ下山後、Ａ嬢を八丁隧道の北登山口に送ったら、こちらには立派なトイレがあった。この登山口は、上落合登山口より７０ｍ高いが、南面からだと距離が長い。

２．登山口のカウンターは「手動式」だった。

３．１０：２３、往路を戻る、甲府昭和のＡ嬢と会う。私を見て以前、瑞牆山で話したという。そこで、これも「何かの縁」で、作業道コース下山を勧めた。Ａ嬢は２Ｈで上って来たと言った。ちなみに我々は約３．５Ｈ。

４．両神山山頂は狭くごった返していた。小さな祠があり見れば「南無大師遍照金剛」の小さな幟があった。古くここは、「イザナギ、イザナミの神を祀っていることから両神と呼ぶ」説がある。

５．作業道コース入り口は、少し分かり難かった。同じコースを下る他パーティーも模索していた。結局、今は通行止めの「梵天尾根」を５分下った右に入り口があった。作業道コースは、特に大きな問題があるコースでない。もう少し手を入れ、皆に通行して貰ったらと思う。わざわざ、往路を戻るなんて詰まらない。登山は「周遊コース」がベストだ。

６．危険を感じたら「躊躇なくザイルを出す」が鉄則。それを怠り、何人山に逝ったことか。

７．久しぶりの「宿泊登山」で楽しかった。たまには皆で泊まりもイイね。宿での交流会は、大いに盛り上がった。

ちょっと、怖い

達成感イッパ～イ！！

こまどり荘夕食

ツルリンドウ（？）

山行番　　ＮＯ．１７０２Ｂ　　文・長谷　　写真・後藤
日　時　　２０１６．１０．２４（日）晴れ
山　域　　南天山（１４８３ｍ）
コース　　こまどり荘８：１５－鎌倉橋発８：３０－南天山１０：３０～４５－鎌倉橋１２：１５－こまどり荘（温泉・昼食）－マンズワイン－下土狩１７：３０
標高差　　上り＝鎌倉橋８１４～南天山１４８３ｍ＝約６６９ｍ
　　下り＝　　〃
参加者　　後藤（L）、室伏、勝又、秋山、小島、峰田、長谷＝７名

# 忘れられない山となりました

秋合宿２日目も好天に恵まれた。１日目に予定を変更したため、今日は、おまけの登山となり、宿の朝食時間（７：３０）の関係で、８：００過ぎに出発した。

すぐに鎌倉橋登山口着。台風の影響で立ち入り禁止のロープが張られていたが、前日に登った方の情報で、問題なしとのこと、ロープをくぐって登り始めた。

しばらく行くと沢に出る。この後沢の両側を丸木橋で渡り、行ったり来たりしながら進む。途中、「法印ノ滝」が見事である。今年は、紅葉がまだまだで、少し残念。初参加のＴさんも、スケールが大きくとてもいい山ですね。と言ってました。

その後、コース分岐で、小休止。この後は、急な登りが頂上まで続くとのことで、水分・栄養補給。確かに、急な登りが、九十九折に続き、つらい。黙々と登るとやっと稜線に出る。はや頂上かと思ったら、更に岩山を越えて、しばらくすすみやっと登頂。快晴の中、３６０℃見渡せ、気持ちがいい。昨日の両神山も見えた。

薄っすら、色づく山々に囲まれ、一服した。（ＧＬは、一本でした）まだ昼には早いため、３０分ほどで、下山。帰りは、分岐まで、尾根まわりを行く。

あの急登を下るのは大変だったので、ほっとする。途中、整備したてのコースのようであった。分岐を過ぎると、沢沿いの来た道を行く。

丸木橋には、注意の指示があり、慎重に下り、ほぼ予定通り下山。秋山合宿無事に終了。

この後、「こまどり荘」で入浴させていただき、渓流釣り場の食堂で昼食。

食券買って、出された順に食べ始め、残り３名が山菜そばを待っていたところ、事件が！なんと、全く作ってなかったのだ。空腹の３名は、怒り心頭で、返金してもらい、早々に帰路に。これで、忘れられない山行になりましたね。

気を取り直し、マンズワインで、ワインを楽しみ、無事に帰宅した。

その他の記述（後藤）

１．「こまどり荘」は、一泊二食８４００－。先日の大雨で温泉を引けず、入湯料は取らなかった。部屋はベットで４名用。テレビ・トイレはあるが、ウオッシュレットでなかった。空調完備で全く寒くはなかった。夕・朝食は、まあまあだが、鱒魚は焼き過ぎ。ワインを持ち込んだが、クレームはなかった。

２．夕食前の交流会。新入会員のＫさん持参の「手製ビア」が美味しかった。

３.「こまどり荘」は、相当山奥だが、向かいに駐在所があって、軽のパトカーもあった。出動することはある？？！！

４.「事件」は、何となく予感した。「ソバ」は皆注文し時間が掛かるので、私は強いて「カレー」で正解だった。「キノコを山に取りに行っている」「ソバを打っている」の与太話が、まさか本当になるとは？？！！食券方式で、注文の管理はしっかり出来ると思うが・・・。お客さんが、その筋の方でなく良かったね。（笑い）

５. 下山時、森林科学館主催のハイキング教室の一行、７～８名に会った。

**こまどり荘**

**鎌倉橋登山口**

**登山時は通行止めだったが、下山時解消されていた**

沢沿いを上る

橋が多い

頂上直下

昨日の
両神山

南天山頂上

美しい沢を下る

法印の滝

・ＮＯ．１７０５
・十二ヶ岳＝雨中止で箱根鎌倉古道～箱根峠
・参加者＝後藤、ＭＭ、ＫＹ、ＨＡ、ＭＴ、ＫＳ＝６名
・距離＝約１８Ｋｍ

両神山訓練で十二ヶ岳でしたが、朝から雨模様。このところ週末悪天候が続き、山行中止が多かったので、何とか何処かで実施したかった。
Ａ案は、「駿豆線ウオーキング」で下土狩駅～三島駅～大仁駅まで、約１８Ｋｍ歩き、一二三荘で温泉だったが、連休で宿がイッパイで駄目。
結局、Ｂ案で、下土狩駅～三島駅～鎌倉古道～芦ノ湖ＣＣ～三島ＣＣ（温泉）を実施したが、芦ノ湖ＣＣで大雨となり、箱根峠からバスで三島駅（バス代＝８４０－）に帰着した。天気は終日小雨・霧・高温・蒸し暑い。

下土狩駅で新会員のＫ氏を待ち６：３０出掛ける。空は雲が切れて晴れそうな感じもする。晴れたら私の十二ヶ岳中止が「バカヤロ～」になってしまう。ウオーキングでも、雨が降らないのに越したことはないが、適当に降ってくれと願った。
Ｈさん勤務の東レ前でＭ氏と合流。加茂川町から旭ヶ丘を上り鎌倉古道に取り付く。加茂川町ではバラバラと大粒の降雨で少し安心した。（笑い）鎌倉古道といっても、現在は山中新田まで舗装道で登山靴には辛い。

グランフィールズＣＣで藪道を嫌い新ルートを探しが結局駄目だった。藪の露がイヤなので、カッパを着た３名に先行して貰った。露は少し軽減された。林道を２～３本横断し上って行く。雨は降ったり止んだり。深い霧で蒸し暑く、不快そのものだった。

別荘地に出て、実質的な「鎌倉古道」は終わった。下土狩駅から標高差＝約８００ｍ、距離＝約１５ｋｍ。鎌倉時代は、ここから別荘地とゴルフ場を抜けて、箱根外輪山から足柄峠がコースだった。
しかし、現在はその部分は、殆ど残っていないか、埋没しているかで、歩くことは出来ない。少なくとも、別荘地とゴルフ場を造成する際、県なり市がしっかり検証し、残す努力をすべきだった。
箱根旧街道もそうだが、例えば現在、三島から小田原まで完全に残っていれば「世界遺産」ものである。だが現実は、Ｒ１でズタズタにされ、ごくわずか面影を残すのみ。悲しい現実である。この国には「歴史遺産」を後世に伝える発想が欠如している。

予定は別荘地から三島ＣＣから上がって来る道路に出て、ＣＣまで下り、温泉～昼食だった。ところが、雨は一向に収まらず、むしろ悪くなり、大粒の雨が降って来た。また、三島ＣＣからの道もほんの数メートル西だが、出ることが出来ず、結局、箱根峠に撤退しバスで帰ることにした。
何処かのガレージを借りて昼食。「立食」だったが、相当空腹だったので美味しく、ビアもいただいた。新入会員のＫさんは、昔の小さな「ポリタンク（通称・ポリタン）」で透明の液体を飲んでいたので、てっきり「水」かと思ったが、「米汁」だった。雨に打たれ、やや寒かったので、美味しかったことと思います。（笑い）

ガージで昼食を済ませた。雨はまだ、続いていた。辺り一面は、深い霧。別荘地は晴れていれば快適だが、雨・霧では、ゴーストタウン。車庫の車は、殆ど首都圏。ここは県境の西で静岡だが・・・。
箱根峠に向かう。別荘地は道路が錯綜し右も左も、東も西も分からない。ＧＰＳが道案内。路傍に、マツムシソウ・ウメバチソウが雨に濡れていた。

車の音が賑やかになれば、峠下のバス停。バス時間まで３０分あったので着替える。峠の茶屋からイイ臭いが流れる。看板を見たら「ホルモン焼」とあった。ああ、ここで熱燗でホルモンならサイコーと誰しも思ったか？？！！昼時で客車は多かった。

バス停に行った。時間表が見事に１時間ごと「すべて３３分」だった。覚えやすくてよろしい。バスが来た。芦ノ湖発だからピッタリ。たまにはバス下山も悪くない。各停留所で乗車が多く、なかなか繁盛。雨だが、スカイ・ウオーク（Ｍさん、ツリーではありません）のお客も多い。

三嶋大社は付近は、少し晴れ間も見えて、境内には人が多かった。七・五・三か？？！！三島駅は完全に上がって陽が差して来た。時間は早かったが、駅前の「源氏」で、新入会員のＫさんの歓迎会を敢行。生イッパイ、熱燗四合やってしまった。
終了後、皆でブラブラ、下土狩まで歩く。時間が早かったので畑で一仕事。山は湿めっぽかったが、イイ汗を流せてスッキリ。トレーニングとしても良かった。　（報告・後藤）

箱根の野菜

マツムシソウ

・１０月１５日（土）～１６日（日）　会津・磐梯山（１８１６ｍ）
会津・博士山（１４８２ｍ）　　後藤

磐梯山は、裏磐梯スキー場から上る。無風快晴の秋晴れ。登山者は多い。頂上は１００名くらいの登山者で立錐の余地なし。下山は、旧火口コース。荒々しいダイナミックな景観。下り切った場所で、遭難者に遭遇。結局ヘリでピックアップ。この日発見されなければ、亡くなっていただろう。

博士山は初見参。道海泣き尾根は、岩壁の様な急登。近洞寺コースに出れば楽になる。ここから頂上は近い。展望は良くない。いわき市のグループが２０名ほど上って来た。下山は近洞寺コース。この尾根は３００年以上と思われる、巨大な檜葉（ヒバ）＝翌檜（アスナロ）が林立する。これは、伐採せず残されたものだ。

・１０月０７日（金）　富士山・宝永山（馬の背２７２２ｍ）　　沖

明日は絶対晴れるぞ！暇も出来た！と１０月７日（金）に宝永山に行ってきました。
近所の山好きを誘いましたが別用があるとかで単独行となりました。
時折雲が通り過ぎる天気でしたが御殿庭から上は概ね快晴でしたが、宝永山山頂付近は風がきつく天気の割には寒かったです。
途中で何を勘違いしたか道を間違えたりしましたが予定より早く下り、御胎内温泉でゆっくり昼寝をしてきました。
添付ファイルは、時間的記録です。・・・・山と高原地図のコースタイムはかなりゆっくりとしたタイムのようですね

・１０月０５日（水）　富士山・須走口頂上　　小島

早朝四時出発。下和田川横を通ると鹿に出くわす。早朝真っ暗で道は閑散として対向車と後続車は皆無。須走からアザミラインを登るが、急登攀で一速、２０ｋｍ／ｈほどのノロノロ運転を強いられる。

往路は小一時間。須走口到着後、まだ暗いのでおにぎり二個で朝食。五時半から登山開始。登山口の山小屋は一軒開いていた。

数年振りで道の感覚が無く、道も整備されていて、六合目までと七合目付近で下山道を登ってしまう。

天気は悪化を覚悟。雨が降ったらその時点で引き返すつもり。今回の山行の主目的はＧＰＳの作動確認＋登山ログ収集。

天気は五合目で霧だったが七合目では雲の上にでて晴れ。下には雲海。風が多少あるが問題ないレベル。丁度汗を掻かずに済んだ。

登り出し一時間ほどは疲れたが、六合目の小屋で一服しておにぎりを食べると、多少調子は戻った。本七合の見晴館までと思っていたが、思いのほか順調に高度を稼ぐ。

途中でデジカメを使うが、電池充電は有るのに、日付がリセットされる。どうも内蔵電池がＮＧらしい。

九時過ぎに見晴館、十一時過ぎに久須志神社到着。流石に剣が峰はパス。神社回りは風が強くて難儀。

小屋の角で雨具を着て、ベトナムラーメンを作る。八合目で会った若い人が、割箸は無いかと声を掛けて来る。幸い予備が有り渡す。

彼はカップ麺とビール。話をすると富士山四回目、登山は初心者らしく、色々と聞いて来る。十二時過ぎに下山。途中でＧＰＳが電池切れ。充電式ニッケル水素を使ったが、７時間程度で燃料切れ。アルカリで１６時間と取説にはあり。予備電池が必要な様子。

山頂での若い人は吉田口だが、遠くに須走口に向う人が見える。山頂の彼か判断できず、また遠くて声を掛けられなかった。しかし、見晴館で気付いたようで戻って来た。良かった。でも各地点で重要な道標が外されたり、カバーが掛かっていたりする。下山して案内板を見ると閉山中は外すと明記されている。疑問だ。

本格的な登山は数年振りで、砂走では疲れ、足腰が痛くてピッチが上がらない。それでも下山は三時間弱。六合目の小屋前ではばてて大休止。

水を３Ｌ以上、おにぎり四個、ラーメン二個、シリアル、缶詰を持参。喉が渇いて水をほぼ使い果たす。食料も不足気味。久しぶりで良い経験が出来た。

## ５．今後の予定

01 月 15 日（日）　初登山＝県連交流ハイク（東部担当）＝蒲原・大平山
01 月 07 日（土）　個人山行
12 月 29 日（木）～31 日（土）　冬山合宿＝甲斐駒
12/24（土）　個人山行
12/17（土）　忘年山行（ハイクの日・昨年のリベンジ）
　　矢倉岳（下山後、沼津「はなの舞」で忘年会）

12/10（土）　個人山行
12/03（土）　定例ハイク＝石割山（リベンジ山行）
11/27（日）　静岡県連５０周年記念レセプション＝清水テルサ（９：００～１７：００）
11/26（土）　山梨・小楢山（リベンジ山行）
11/19（土）　冬山訓練＝宝永山
11/12（土）　秋の健康ハイキング＝山中湖～忍野八海（予備日１３日）
11/05（土）　個人山行
10/30（日）　県連＝安全登山講習会
大蔵善福氏「山は偉い」
１３：１０～１５：４５（開場１２：３０）
清水区区役所「ふれあいホール」

20161025年安全登山講習会０２.pdf　←←←案内ビラ。クリックして下さい。

## ６．その他

・１１月度例会＝１１月１３日（日）・生協２Ｆ１０：３０～１２：００　第二日曜日！！

## ７．今月のベストショット

両神山・八丁尾根

八丁尾根の岩場

南天山山頂から両神山

会津磐梯山（１８１６ｍ）
磐越西線から

会津磐梯山・櫛ヶ峰（１６３６ｍ）